

富士オートが最高賞

省エネ
工省良
工省良
設備
設置

施工のヤマトも

本社ビルを改修、建物全体の省エネ化を図った富士オート（前橋市本町、斎藤隆社長）と、施工業者のヤマト（前橋市古市町、新井孝雄社長）が、第二十五回優良省エネルギー設備顕彰（日本冷凍空調設備工業連合会主催）で最高賞の省エネルギーセンター会長賞を受賞した。

同社の本社ビルは鉄骨造りの地下一階地上九階建て。建設から二十五年が経過、熱源や空調、換気、照明などの各設備が年々劣化し、ランニングコストの抑制とエネルギーの効率化が課題になっていた。

今回評価を受けた新システムは、本社南側駐車場の地下に蓄熱槽を新設、熱源に低料金の夜間電力を活用する仕組み。集中管理で効率化を進め、エネルギーの利用を最小限にとどめている。

二〇〇四年から移働、

導入後、電気、ガス、水道のエネルギーコスト

はほぼ半減。排出される二酸化炭素（CO₂）も半分以上削減されるなど大きな効果を出している。改修費は二億七千万円。老朽化した従来の設備を更新、使用した場合と比べ、およそ五年でコストが回収できるとしている。

同社の井上正博常務は「初期コストもかかったが、環境重視という立場から設備を導入した。今後も社員の意識を高め、継続して運用していきたい」と話している。



省エネへの取り組みが評価された富士オート本社ビル